

福井

福祉の情報てんこ盛り!!



平成28年度から取り組んでいる社会的孤立対策モデル事業（沖縄県社会福祉協議会社会福祉振興基金）は、今年で3年目を迎えました。今年度は新たに5自治会（棚原自治会、津花波自治会、内間自治会、掛保久自治会、我謝自治会）を認証しました。※詳しくは2面に掲載しております。

目次

- 社会的孤立対策モデル事業認証式①・・・・・・・・・・ 1
- 社会的孤立対策モデル事業②/西原町身体障害者協会よりお知らせ・・・・・・・・・・ 2
- 社協決算報告/平和講演会/・・・・・・・・・・ 3
- 平成30年度社協の主な事業・・・・・・・・・・ 4～5
- いいあんべー家だより/はばたきだより・・ 6～7
- ボランティア体験学習/お知らせ・・・・・・・・・・ 8

編集・発行
 社会福祉法人
 西原町社会福祉協議会
 〒903-0111
 沖縄県中頭郡西原町字与那城135番地
 TEL 945-3651 FAX 946-6777
 URL www.nisya.net
 E-MAIL nisya@nisya.net

「福井」は社協会費、赤い羽根共同募金配分金、寄付金、沖縄県補助事業等によって作成されています。

平成30年度 5自治会をモデル区に決定!

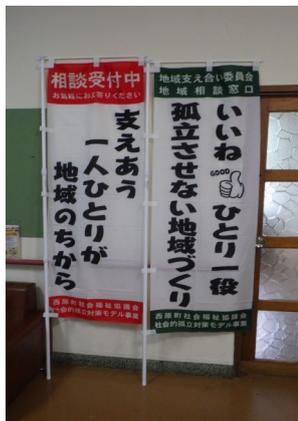
社会的孤立対策モデル事業

地域福祉の課題等が増大し、社会的孤立をつくらない取り組みが求められている中、本会では、沖縄県社会福祉協議会社会福祉振興基金を活用して地域で相談と支援ができる、支え合い体制づくりに取り組んでいます。

社会的孤立対策モデル事業では、平成28年度〜30年度にかけて自治会をモデル区として認証し、地域の公民館において相談窓口を開設し、相談員2名が地域住民のよろず相談に対応しています。

平成28年度・29年度にモデル区として認証した地域からは、地域相談窓口の定着や、住民主体の見守り・声かけ活動を通じた地域の福祉力の向上、地域の特性に応じた様々な取り組みが深められた等の報告を受けています。

今年度は、新たに町内5自治会をモデル区として認証しました(7月18日時点) ※写真表紙掲載



▲モデル実施地区のぼり

7月18日には、認証式と併せて地域窓口相談員のスキルアップを図るため、一般社団法人沖縄県社会福祉士会会長の竹藤登氏を講師に招き、研修会を開催しました。



▲「コミュニケーション技術研修会」
竹藤登氏(沖縄県社会福祉士会 会長)

自治会長、民生委員、地域窓口相談員の皆さんが楽しく話に聞き入っていました。

「相談にお」

「支えあう一人ひとりが地域のちから」

「誰に相談していいかわからない...、町の相談室へ行くまでもないけれど...。話を聞いてもらうことで心の負担が軽くなることもあります。どんな小さなことでも、ゆんたくだけでもかまいません。地域窓口相談員がお話をお伺いします。お気軽に地域の相談窓口へお立ち寄りください。」

平成30年度モデル区相談日	○棚原自治会 相談日：毎週月曜日/午後3時30分～6時
○津花波自治会 相談日：毎週水曜日/午後1時～5時	○内間自治会 相談日：毎週金曜日/午後4時～5時
○掛保久自治会 相談日：毎週木曜日/午前9時～12時	○我謝自治会 相談日：毎週火曜日/午後1時30分～3時30分



西原町身体障害者協会よりお知らせ

西原町身体障害者協会(会長大城清)においては、これまで各事業を行ってまいりました。

4月には「にしはる歴史の会」に所属している玉那覇三郎氏を講師に迎え、町内の「歴史遺跡めぐり」、5月の定期総会では、平成30年度の事業計画を全会一致で決議しました。

今後の活動としては、第54回沖縄県身体障害者スポーツ大会に参加することです。



概要は、8月11日のアーチェリー競技に一人参加。9月にフライングディスク競技に5名参加、続いて水泳・一般卓球・STT(サウンドテーブルテニス)に参加します。

10月6日の陸上競技(糸満市西崎運動公園陸上競技場)には、約13名の選手が参加する予定です。選手みんながそれぞれ競技に対して真剣に取り組み、頑張る決意をしています。

また、9月2日には5市町村(西原町、中城村、与那原町、南風原町、豊見城市)の交流会があり、今回は西身協が主催となります。

星に願う 家族の幸せ

一サービス孫の手一



7月は七夕ということで、サービス孫の手では短冊にそれぞれ願い事を書き、竹に飾りました。また、折り紙を使用し、大きな画用紙に織姫と彦星のちぎり絵を作りました。皆願うのはやはり「健康長寿」「家族の幸せ」でした。



平成29年度西原町社会福祉協議会一般会計決算報告

<収入>		<支出>		(単価:円)
会費収入(各世帯、企業、各種団体、篤志家などからの会費)	2,739,700	事業費支出(福祉サービス事業に係る費用)	21,356,429	
寄附金収入(一般寄付や香典返しなどの寄付金)	1,905,605	事務費支出(福祉センター、いいあんべ一家、サポートセンターはばたきの光熱水費や事務経費等)	14,744,605	
経常経費補助金収入(西原町からの補助金)	58,177,700	就労支援事業支出(サポートセンターはばたき運営に係る費用)	16,286,734	
受託金収入(県社協、町事業などの受託金収入)	19,017,278	共同募金配分金事業支出(共同募金配分金事業歳末助け合い事業に係る費用)	1,223,809	
事業収入(社協事業・共同募金配分金収入)	3,227,911	助成金支出(団体育成や地域活性の為の助成金)	9,376,437	
介護保険事業収入(いいあんべ一家指定管理費)	16,008,421	負担金支出(県社協や中部社連等への負担金)	246,022	
就労支援事業収入(サポートセンターはばたき事業収入)	15,957,841	人件費支出(役員手当や職員給与、社会保険料等)	109,863,169	
障害福祉サービス等事業収入(居宅介護サービス事業、相談支援事業収入)	56,488,322	その他の支出(損金)	79,926	
受取利息配当金収入(預金・定期利息収入)	18,687	固定資産取得支出(クーラー設置、精米事業器具購入)	2,635,998	
その他収入(実習生受入れ謝礼金等)	982,232	積立資産支出(定期預金へ積立額)	3,495,999	
施設整備等寄附金収入	415,000	その他の活動による支出(職員退職金の積立)	3,869,260	
積立資産取崩収入	60,448	支出合計	183,178,388	
収入合計	174,999,145	当期資金収支差額(収入-支出)	△ 8,179,243	
		前期末支払資金残高	60,069,427	
		当期末支払資金残高	51,890,184	

の務めです。」と語りました。

くは無辜の民です。人類の最悪にして卑劣な蛮行たる戦争は、風化させてはなりません。そして、戦争そのものの悲惨さや惨たらしさを訴えることが大事だと思えます。戦争は二度と繰り返してはならない、その為にもあらゆる方法をして告発し続けることが私たちの務めです。」と語りました。

趣旨でした。

渡久山氏は講話で、「沖縄戦で最も犠牲となったのが一般住民。旧日本軍は沖縄を“本土の防波堤”と見なし、できる限り米軍を沖縄に張りつける為に“時間稼ぎの捨て石作戦”を繰り広げた。このことが沖縄戦を長引かせ、一般住民に多大な被害を与えることになった」と語り、「戦争をどっちが正しいのかではなく、傷つくのは多くの無辜の民です。人類の最悪にして卑劣な蛮行たる戦争は、風化させてはなりません。そして、戦争そのものの悲惨さや惨たらしさを訴えることが大事だと思えます。戦争は二度と繰り返してはならない、その為にもあらゆる方法をして告発し続けることが私たちの務めです。」と語りました。



平和講演会

去る6月21日、西原町「平和の語りべ」登録者の渡久山勇氏(西原身体障害者協会副会長)が、「6月23日慰霊の日、平和記念講演会」に係る講師依頼を沖縄県立開邦高等学校(宮城薫校長)から受け、高等部581名、中等部118名を対象に同校体育館で講話を行いました。



はばたき だより

○名称
社会福祉法人西原町社会福祉協議会
サポートセンターはばたき

○営業日
毎週月曜日～金曜日
(土・日・祝日は休み)

○開所時間
8:30～17:15

平成29年度サポートセンター はばたき事業報告

【名称】

サポートセンターはばたき(障害福祉サービス)：就労継続支援B型事業)

【事業方針】

障害者総合支援法の就労支援B型事業として、利用者へ就労の機会(仕事)を提供すると共に生産活動(授産)を通して、利用者の一人ひとりの希望に沿いながら仕事への適応力を身につけ、地域社会で自立して安心した生活を送れるよう支援を行います。

【利用者状況】

・定員20名、利用登録人数22名
(男性14名、女性8名)平成30年3月末現在

・主たる対象者
知的障害者、精神障害者

【授産活動状況】

- ・就労訓練(精米事業、喫茶事業、清掃業務受託事業、EM農耕事業、室内作業事業、菓子製造事業)
- ・利用者平均工賃：13,343円
- 【利用者支援】
- ・利用者余暇活動(年6回)
- ・利用者研修(年6回)
- ・はばたきインシヨイクラブ活動(誕生日会、お楽しみ会の開催)
- ・きょうされん沖縄支部仲間部会への参加など

↑はばたき運動会のように



▲大典寺清掃のようす



▲畑作業も頑張っています！



今年もやってまいりました！

はばたきお中元



▲写真はイメージです

毎度ははばたきの商品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。今年もサポートセンターはばたきでは「お中元フェア」と題し、お米とオキハム商品のお中元ギフトのご注文の受付・販売を行います！

商品の内容・金額についてはサポートセンターはばたきまでお問い合わせください。

※ お米ギフトの購入の際には全国共通お米券もご利用になれます。

※ 西原町内であれば無料配達も行っておりますのでぜひご利用ください！

受付期間：7月23日(月)～8月23日(木)まで

	銘柄	年産	3kg	5kg
1	沖縄産ひとめぼれ	30	¥1,530	¥2,450
2	熊本産こしひかり (特別栽培米)	29	¥1,560	¥2,500
3	鹿児島産ヒノヒカリ	29	¥1,400	¥2,130

※化粧箱・クラフト袋付の価格となっております。

- ご注文おひとつから配達できます。
- 喫茶はばたきにてお中元商品展示中！

↓↓ご注文はこちらへどうぞ↓↓

サポートセンターはばたき【直通】
TEL:098-943-6251
FAX:098-943-6254



西原町介護予防拠点施設



開館日：毎週月曜日～土曜日 時間：9時～17時
対象者：西原町在住・在勤の40歳以上の方
場所：西原町字与那城135番地(中央公民館隣)

いいあんべー家 だより

休館日：日曜日・祝日・慰霊の日(6月23日)
利用料：100円【マッサージ器具などを利用できます】
電話：098-946-1734

3期 じんぶん教室

もの忘れが気になる方、予防したい方へ!!

じんぶん教室とは、65歳以上を対象とした、介護予防を目的とする教室です。主な内容は、体操や講話、作業活動などに、認知症予防を目的としたプログラムを約3ヶ月間行います。今回は、屋外でのピクニックも計画しています(第3回に予定)。送迎もありませんので、ぜひ興味をもたれた方は、お問い合わせ下さい。



● 内容

- ・体力測定、脳力測定、血圧脈拍測定、体重測定。
- ・体と頭を使った運動や机上での作業活動・脳トレーニング。
- ・ミニ講座(もの忘れ予防・口腔ケア・栄養バランスなど)

● 日程：9月7日～12月7日までの 毎週金曜日

● 時間：10時～12時(全12回)

● 場所：西原町いいあんべー家(多目的ホール)

● 対象：①西原町在住65歳以上の方

②運動制限の無い方。

● 定員：20名(先着順)

● 受講料：無料

● 受付：西原町いいあんべー家窓口にて直接申し込み。

①申し込み用紙 1枚(必須)

②判定表 1枚(必須)

③医師からの情報提供書 1枚(必須)

● 募集期間：8月1日～8月25日まで



▲作業活動で製作した写真たて



▲前期じんぶん教室の様子

大好評! ロコフィット体操教室

いいあんべー家では、介護予防を目的に、自宅でも取り入れられる内容で、筋力トレーニングやストレッチを中心に体操教室を実施しております。4月より開催していますロコフィット体操教室は、より多くの方にご利用頂くために、教室を増設しました。この機会に、ぜひご参加下さい!

ロコフィット体操

● 日時

月曜日	① 10時～10時45分 ※先着25名まで
水曜日	① 10時～10時45分 ② 11時～11時45分 ※先着25名まで
土曜日	10時～10時45分

※10時開始の教室は、9時30分受付

● 場所

・西原町いいあんべー家

● 対象

・西原町在住、在勤40歳以上
・運動制限の無い方

● 受講料 無料

● 持ち物

・動きやすい服装、室内シューズ
・飲み物

● 提出書類

①参加申込書 ②参加同意書
③医師からの情報提供書※

※『医師からの情報提供書』はいいあんべー家指定用紙があります。

ロコフィット体操男塾

● 日時

木曜日	10時～10時45分
-----	------------

● 場所

・西原町いいあんべー家

● 対象

・男性(西原町在住、在勤40歳以上)

● 運動制限の無い方

● 受講料 無料

● 持ち物

・動きやすい服装、室内シューズ
・飲み物

● 提出書類

①参加申込書 ②参加同意書
③医師からの情報提供書※



平成30年度ボランティア体験学習オリエンテーション

支え合う街づくり～災害に備えよう～

7月24日、西原町社会福祉協議会において、西原中学校75名、西原東中学校38名、高等学校（西原高校、知念高校、開邦高校、陽明高校、インターナショナルスクール含む）10名、計123名の参加者のもと、ボランティア体験学習（オリエンテーション、福祉学習）を開催しました。

午前中に福祉学習として「災害救助犬の活動について～災害現場から伝えたいこと～」をテーマに特定非営利活動法人 沖縄災害救助犬協会（理事長 伊波成恭）の副理事長 幸喜馨氏を講師に迎え、災害救助犬の活動をお話しして頂きました。幸喜さんは「災害はいつ起こるか分からない。常日頃から災害について考えて欲しい」と伝え「自分の命は自分で守ること。それは人を思いやる心につながります」と話しました。活動を初めて知る参加者からは、訓練の方法やセラピー犬について質問があり、とても興味深く内容の濃い講話となりました。



▲幸喜氏と災害犬の金城ライゼくん

また、今回は西原町ボランティア連絡会（会長 新川千代子）の協力のもと、カレーライスの炊き出しがあり、ハートライフ病院から寄贈いただいたアルファ米をみんなで試食しました。参加者たちは、水を入れただけでできるご飯を不思議に感じながらも、美味しく味わっていました。

午後のオリエンテーションでは、「ボランティアの心得」や「体験を行う施設選び」を行い、参加者のみんなが一生懸命に福祉について理解しよう、学んだことをボランティア活動へ活かそうとする姿勢が伺えました。

※アルファ米とは、一度炊き上げたお米を乾燥させ、水またはお湯を注ぐだけで、煮炊きしなくてもできあがるご飯です。災害時などの非常時の役立てられています。

オリエンテーション、福祉学習を終えた参加者たちは8月1日～8月17日の期間、町内の29カ所の施設から2カ所選びボランティア体験を行います。体験の様子は、次号にてお伝えしますのでお楽しみに！



▲オリエンテーションのようす



▲美味しいカレーライス

御芳志

御芳志がありましたので、紙面にて紹介し深く感謝申し上げます。

◆香典返し◆

- ・字我謝 玉那覇 正之 様より 故母 玉那覇エイコ 様の香典返しとして 5万円

◆一般寄付◆

- ・株式会社 石川酒造場 様より 10万円
- ・新中糖産業 株式会社 様より 30万円

◆お元気ですか事業への野菜提供◆

- ・字小波津、糸数 栄吉 様（ゴーヤー）
- ・字小波津、小波津 盛光 様（冬瓜）
- ・西原ファーム 様（にがな）
- ・JA青壮年部 様（玉ねぎ）

◆物品寄贈◆

- ・字内間、新川 千代子 様より サポートセンターはばたきへ 小麦粉 10袋
- ・字翁長、大城 勝 様より ポータブルトイレ、シャワーチェア、4点杖

お譲り下さい

西原町社会福祉協議会では、まだ食べられる安全な食料を地域の皆さまからわけていただき、食べ物を必要としている人々に提供する活動を展開したいと考えております。

旧盆に寄せられる「お中元」の中から、おすそ分けが出来るものがありましたらご提供お願いします。

【おすそ分けをお願いする食料】

- ・お米・缶詰・乾麺・インスタント食品
- ・常温で保存が可能なもの
- ・賞味期限が1ヶ月以上残っているもの

※ 誠に勝手ながら、社協事務所まで持ってきていただける方に限らせて頂きます。



【問い合わせ】

西原町社会福祉協議会 945-3651